

環境ユニバーシティ 岐阜大学
岐阜大学の取り組み
2021



環境ユニバーシティへようこそ

本学は2020年に名古屋大学と法人統合を行い、国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学となりました。この法人統合による総合力を最大限に活用し、教育・研究の更なる機能強化を図り、国際競争力の増進と地域創生への貢献を両輪に活動を進めています。また、機構の目標は「勇気をもって未来をつくる」人材の育成であり、加えて本学は「学び、究め、貢献する」人材の育成を目指します。

2021年、カーボン・ニュートラル達成に向けた挑戦として、全国の大学が国・自治体・企業などと連携強化を進める連合体「カーボン・ニュートラル達成に貢献する大学等コアリション」が立ち上がりました。東海国立大学機構もこれに積極的に参加し、世界最高水準の知を総動員し、広く社会と連携してカーボン・ニュートラルの達成に向けて取り組んでいきます。今般の眞鍋淑郎先生のノーベル賞受賞もあり、正に格好のタイミングです。

本学はすでに2009年「環境に配慮した特色ある活動を継続的に展開、地域社会に貢献し、地域とともにあり続ける大学」として『環境ユニバーシティ』を宣言し、サステナブルキャンパスの構築を目指し、環境対策に関する取り組みを積み上げてきました。2013年には医学部附属病院を除く全学でISO14001の認証を取得し、一つの事業体として一定の到達目標を達成できましたが、今後は環境マネジメントにおける定常的な見直しとレベルの維持、向上が責務だと考えています。

そこで2021年4月から始動した航空宇宙生産技術開発センターや2022年度稼働予定の糖鎖生命コア研究所など環境プレッシャーを発生する新規施設等を含め、積極的なエネルギーマネジメントを行っていきます。

さらに、2021年より次世代地域リーダー育成プログラムに環境リーダーコースを新設し、自ら主体的に環境問題に取り組むことのできる人材を育成するとともに、地方創生エネルギーシステム研究センター、岐阜県気候変動適応センターをはじめとする高等研究組織等による最先端の研究を展開していきます。

また、本学では教職員と学生の協働によるキャンパス内の自然環境保護活動、ISO14001内部環境監査、環境報告書編集などが行われ、また近年環境に関する学生サークルが新たに立ち上がるなど、学生の環境活動が大きなムーブメントになっており、今後の活動に期待しています。

これまで本学の環境への取り組みが評価され、地球環境大賞「文部科学大臣賞」（2020年）、環境コミュニケーション大賞「環境配慮促進法特定事業者賞」（2021年）、eco検定アワード2021「エコユニット部門 大賞」（2021年）など直近3年間で6つの賞を受賞することができました。

これからも環境に関する教育・研究の充実を図り、SDGsの目標達成と地域社会の課題解決に貢献するため、より広い視点で環境問題に取り組んで参ります。



岐阜大学長
最高環境責任者

森 昭 久 隆



環境ユニバーシティ宣言をしています

本学は、岐阜大学環境方針に基づき、環境に配慮した特色ある諸活動を継続的に展開し、地域社会に貢献し、地域とともにありつづける大学として2009年11月27日に「環境ユニバーシティ宣言」をしました。

岐阜大学環境方針

岐阜大学は、本学が掲げる理念を達成するとともに、「環境ユニバーシティ」としての取組みを継続発展させ、環境に配慮した大学環境を創り出すとともに、環境を担う優れた人材育成に努めます。

基本方針

1. 岐阜大学の特長を生かした環境教育・研究を推進します。
2. 教育・研究活動の環境側面を常に認識し、環境影響を評価し、汚染の予防に努めます。
3. 省エネルギー、省資源を推進し環境負荷の一層の軽減に努めます。
4. 教育・研究に関わる順守義務の適合に努めます。
5. 環境パフォーマンスを向上させるため、環境マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。
6. 教育・研究を通して、気候変動の緩和及び生物多様性の保護に寄与します。
7. 毎年度活動目標を設定し、達成していきます。

岐阜大学は、この環境方針を学内外に周知し、広く公開します。

2020年4月1日

岐阜大学長
最高環境責任者 森脇 久隆



初の東海国立大学機構「環境報告書」の発行

機構及び岐阜大学、名古屋大学の情報を統合し、初となる東海国立大学機構「環境報告書2021」を発行しました。当報告書では、機構長×副機構長、岐大生×名大生などの対談や研究に関するクロスインタビューなど新たな試みに多く挑戦しています。

岐阜大学HPでも公開していますので、是非ご覧ください。

URL: <https://www1.gifu-u.ac.jp/~kankyo/houkokusyo.html>





環境ユニバーシティ

～環境への取り組みのあゆみ～



2003年	3月	地域科学部でISO14001認証取得
2006年	3月	環境対策室を設置
	9月	岐阜大学環境方針を制定
2009年	7月	流域水環境リーダー育成プログラム開講
	11月	環境ユニバーシティ宣言 環境ユニバーシティ宣言記念事業～環境について考えるキャンパスミーティング～開催 FC岐阜エコプロジェクト植樹イベントでランドに大気環境木を植樹 グリーンキャンパス開始
	12月	ISO14001認証範囲を大学本部、図書館へ拡大
2010年	11月	「環境ユニバーシティフォーラム」開始
	11月	岐阜シンポジウム「岐阜から生物多様性を考える」開催
2011年	10月	学生によるISO14001内部環境監査の開始
	12月	ISO14001認証範囲を教育学部、附属小中学校へ拡大
2012年	4月	十六銀行と「環境保全における連携に関する覚書」締結
	7月	十六銀行連携「省エネ啓発ポスター」募集、表彰を開始
	10月	「岐阜市環境活動顕彰」受賞
	10月	十六銀行と連携した環境対策活動が「節電・発電大賞」受賞
	12月	ISO14001認証範囲を医学系研究科・医学部、応用生物科学部へ拡大
2013年	4月	全学共通教育「環境マネジメントと環境経営」開講
	12月	ISO14001認証範囲に工学部が加わり、全学(附属病院を除く)で認証取得
2014年	6月	岐阜大学ブランドのミネラルウォーター「のみやすい」発売開始
2015年	3月	FC岐阜と「環境保全における連携に関する覚書」締結
	3月	「岐阜大学キャンパスマスタープラン2015」策定
	3月	附属小中学校が「エコスクールコンテスト(岐阜市)」受賞
	4月	次世代エネルギー研究センター設置
	4月	地域減災研究センター設置
	6月	FC岐阜連携「岐阜う米プロジェクト」開始
	7月	十六連携「エコがつながる種まきプロジェクト」開始
2016年	4月	医学部附属病院においてESCO事業運用開始
	11月	ISO14001内部環境監査員養成研修修了証書授与開始
2017年	3月	学内の樹木に樹名札を設置
	4月	「二酸化炭素排出量を2030年度において、2013年度比40%以上削減」目標設定
	8月	集中講義「環境、CSR(企業の社会的責任)とマネジメント」開講
	8月	他大学との環境コミュニケーション「環境報告書の意見交換会」開始
	8月	インフラミュージアム設置
2018年	7月	地方創生エネルギーシステム研究センター設置
	11月	「eco-MASTER GRAND PRIX 2018」[eco検定アワード2018]受賞
	11月	「サステイナブルキャンパス賞2018 奨励賞」受賞
2019年	2月	サステイナブルキャンパス評価システム(ASSC)におけるゴールド認定
	7月	公認サウルスESDクオリアに「岐阜市制130周年特別感謝状」
	11月	「eco検定アワード2019」エコユニット部門「優秀賞」受賞
2020年	1月	「環境ユニバーシティ宣言」10周年の記念植樹
	2月	第23回環境コミュニケーション大賞「環境配慮促進法特定事業者賞」受賞
	3月	第29回地球環境大賞「文部科学大臣賞」受賞
	4月	岐阜県気候変動適応センター設置
	11月	「eco検定アワード2020」エコユニット部門「奨励賞」受賞
	11月	「サステイナブルキャンパス賞2020 学生活動部門」受賞
2021年	2月	第24回環境コミュニケーション大賞「環境配慮促進法特定事業者賞」受賞
	4月	次世代地域リーダー育成プログラムに環境リーダーコース新設
	11月	「eco検定アワード2021」エコユニット部門「大賞」受賞



2012.10 岐阜市環境活動顕彰受賞



2013.12 ISO14001登録証授与式



2015.06 岐阜う米プロジェクト



2016.11 ISO修了証書授与開始



2017.08 環境コミュニケーション



2020.01 「環境ユニバーシティ宣言」記念植樹



eco検定アワード2020 表彰式



2020.11 eco検定アワード表彰式



サステイナブルキャンパス賞2020受賞報告





環境に関する教育



次世代地域リーダー育成プログラムに環境リーダーコース新設

地域協学センターが進める次世代地域リーダー育成プログラムに2021年度より「環境リーダーコース」が新設されました。岐阜の自然や環境学などを学ぶほか、企業や自治体と連携して地域社会における環境問題に対する取組を実践します。

様々な分野からみた環境問題を学ぶことを通して、次世代地域リーダーに必要な素養や能力を養うとともに、将来においても、自ら主体的に環境問題に取り組むことのできる人材を育成します。

環境リーダーコースにおいて選択必修科目となっている2科目を紹介します。



全学共通教育「環境マネジメントと環境経営」(前学期・後学期)

講義では地球が抱えている環境問題の現状や、環境マネジメントシステムの枠組み、環境負荷の分析評価から効果的な環境経営の手法を学びます。市役所や企業の方をゲストスピーカーとしてお招きし、自治体や企業が取り組んでいる環境対策及びSDGsへの取り組みについて講義いただいたり、環境に配慮した設備の見学も実施しています。



岐阜市メガソーラー発電施設の見学

全学共通教育「環境、CSR(企業の社会的責任)とマネジメント」(集中講義)

現代社会において、生産活動を展開する企業は利益を追求するだけでなく、法律の遵守、環境への配慮、コミュニティへの貢献などが求められ、企業の社会的責任(CSR)が問われるようになりました。このことは、教育の現場である大学にとっても同様で、「教育・研究」「経済・財政」「環境・社会」の側面から「大学の社会的責任」(USR)が求められています。講義では「環境」の側面から、CSR、USRとマネジメントシステムについて事例を踏まえて理解することで、学生が社会に出てからも様々な業務で学んだことを活かせるカリキュラムとなっています。



各学部で開講している環境に関する講義数

全学共通教育	34科目	工学部 工学研究科	63科目
教育学部 教育学研究科	42科目	応用生物科学部	166科目
地域科学部 地域科学研究科	38科目	自然科学技術研究科	106科目
医学部 医学系研究科	2科目	社会システム経営学環	6科目



環境マネジメントの取り組み



全学でISO14001:2015を認証取得しています! (附属病院を除く)

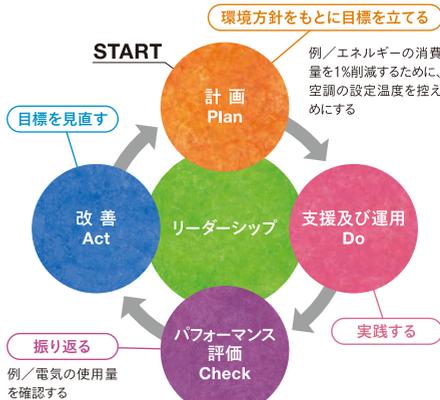


ISO14001の認証取得とは?

国際標準化機構 (ISO) が制定した、各組織 (企業、大学等) が「環境マネジメントシステム」を構築するための基準です。各組織の「環境マネジメントシステム」がその基準にそって構築され、運用されていることを第三者の審査機関によって認められると認証取得となります。

環境マネジメントシステムとは?

大学の教育・研究活動を進めることによって生じる環境への影響を少なくするために、環境目標を設定し、その目標達成に向けて、環境配慮活動に取り組み、評価し、改善していくPDCAサイクルを基本とし、環境パフォーマンスを向上させるためにスパイラルアップによる継続的改善を目指す仕組みです。



大学の活動におけるマテリアルバランス (2020年度)



岐阜大学のエネルギーマネジメントの取り組み

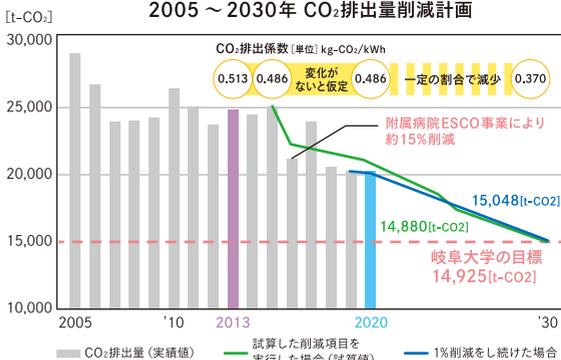


目標 二酸化炭素排出量を2030年度において、2013年度比 40%以上削減します!



目標達成に向けて、取り組んでいます。

- 各学部校舎の大型改修
- 24時間稼働機器の更新
- 附属病院の熱源機器の大型改修
- 照明器具のLED化
- ベース電力の削減
- 再生可能エネルギーの導入
- 高効率空調機への改修
- 各自の省エネの取り組み





環境配慮活動



学生による内部環境監査



ISO14001について研修を受けた学生たちは、職員とともに、本学の環境マネジメントシステムの取り組みについて、学生の視点から監査を行います。

2020年11月、学長より内部環境監査員養成研修修了証書が20名に授与されました。



環境ユニバーシティフォーラム



毎年11月の環境月間に、環境に関連したトピックをもとに「環境ユニバーシティフォーラム」を開催しています。

2020年度は岐阜県等と「第19回ライチョウ会議ぎふ大会」を共同開催し、信州大学の中村浩志名誉教授による講演や「ライチョウ展」が行われました。



環境報告書学生編集委員会



「環境報告書」の作成において、学生編集委員会を立ち上げ、学生による誌面づくりを行っています。環境に関する研究を行っている研究室でのインタビュー記事やサークル紹介記事を執筆し、他大学と互いの「環境報告書」についての意見交換会を行っています。



クリーンキャンパス



キャンパスの環境美化の取り組みの一環として、毎年2回(5月・11月)、全学で実施しています。また、キャンパス周辺のごみを拾う「大学周辺ゴミ0(ゼロ)活動」や特定外来生物「オオフサモ」駆除も行っています。





チェックしてみよう!

チェック内容		チェック
エアコンの設定温度は控えめにしよう (室温の目安：夏28℃、冬19℃)		
照明の使用を必要最小限にしよう		
部屋を最後に離れるときは、エアコン・ 照明をOFFにしよう		
ごみは分別して、ごみ箱に捨てよう		
リ・リパック*の回収に協力しよう ※生協で扱っているリサイクル可能なお弁当容器		
実験に使用した薬品は「実験廃液等の分別 貯留ポスター」に従って、適切に廃棄しよう		

持続可能な開発目標

「SDGs (Sustainable Development Goals)」とは、
2015年9月の国連サミットで採択された国際社会共通の目標です。
本学も積極的に取り組んでいます。

※関連する取り組みにアイコンを記載しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



ISO14001の活動を一緒に行ってくれる学生を募集しています。

環境活動に興味のある人は、右のQRコードまたは
下記のお問い合わせ先にご連絡ください。



お問い合わせ先

岐阜大学環境対策室(管理部施設課)

〒501-1193 岐阜市柳戸1番1 TEL : 058-293-2118 MAIL : iso_ems@gifu-u.ac.jp

<https://www1.gifu-u.ac.jp/~kankyo/>